

始





337-87

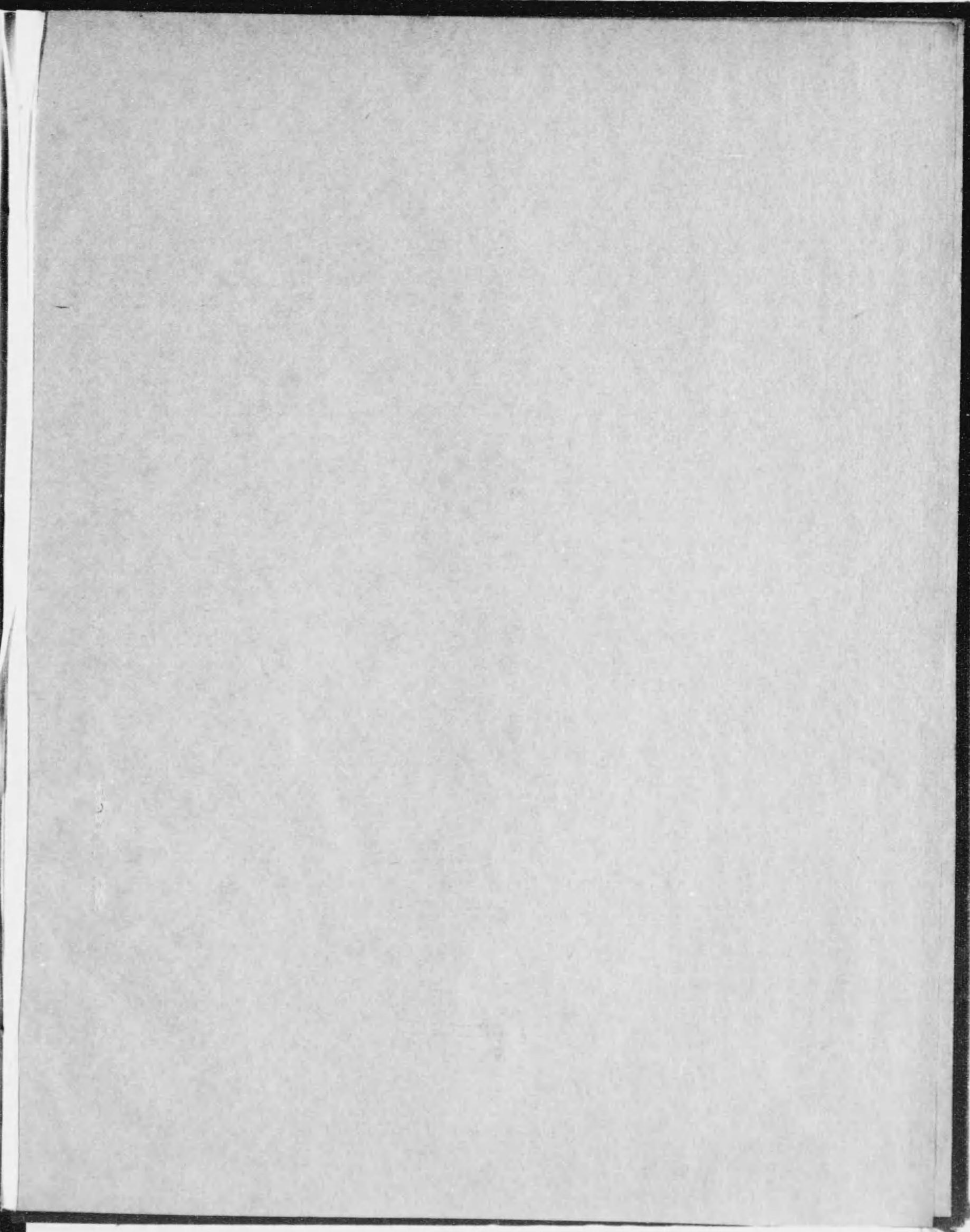
印度藝術總覽

A GENERAL VIEW
OF
INDIAN ARTS

第一卷 第一輯

大正
13. 3. 3
購求

Issued by
The Society for Study of Indian Arts
Tokyo



『印度藝術總覽』內容一覽

—(第一卷第一輯附)—

| | | | |
|-----|---------|-----|--------|
| 東京 | 東京美術學校 | 東京 | 日印協會 |
| 東京 | 田島常三殿 | 東京 | 高橋順次郎殿 |
| 東京 | 正木直彦殿 | 神戶 | 別所幸吉殿 |
| 千葉 | 成田山新勝寺殿 | 東京 | 笠松勝義殿 |
| 東京 | 野生司香雪殿 | 千葉 | 町田曲江殿 |
| 東京 | 多賀道吉殿 | 東京 | 朝井觀波殿 |
| 東京 | 藤細川護立殿 | 千葉 | 矢野美津次殿 |
| 神奈川 | 津端道彦殿 | 東京 | 堅山南風殿 |
| 東京 | 沼田才治殿 | 東京 | 岡教達殿 |
| 東京 | 寺崎廣載殿 | 名古屋 | 大石三千穂殿 |
| 東京 | 中野觀象殿 | 印度 | タゾーパル殿 |
| 東京 | 小林辨吉殿 | | |

(同不序順) 名芳家藏所品載場

| | | | | |
|------------|----------|----------|------|------|
| 一、印度神話 | 莫臥兒朝繪畫 | 桐谷洗鱗君藏 | 寫真版 | 彩色木板 |
| 二、樂又女 | バルント石彫 | 桐谷洗鱗君藏 | 寫真版 | 寫真版 |
| 三、白象王本生譚 | アジヤンタ壁畫 | 桐谷洗鱗君模寫 | 寫真版 | 寫真版 |
| 四、佛母靈夢 | アフラグアチ石彫 | 桐谷洗鱗君模寫 | 寫真版 | 寫真版 |
| 五、說法印佛陀 | 佛陀伽那發掘石彫 | 桐谷洗鱗君藏 | 寫真版 | 彩色木板 |
| 六、王子 | アジヤンタ壁畫 | 桐谷洗鱗君模寫 | 寫真版 | 寫真版 |
| 七、輪寶塔聖樹禮拜 | バルント石彫 | 野生司香雪君攝影 | 寫真版 | 寫真版 |
| 八、文殊師利菩薩 | 佛陀伽那發掘石彫 | 桐谷洗鱗君藏 | 寫真版 | 寫真版 |
| 九、印度佛教發源神 | 莫臥兒朝繪畫 | 荒井寛方君模寫 | 寫真版 | 寫真版 |
| 〇、佛靈夢 | アフラグアチ石彫 | 荒井寛方君模寫 | 寫真版 | 寫真版 |
| 一、貴族の旅 | 彼斯古畫 | 桐谷洗鱗君藏 | 寫真版 | 彩色木板 |
| 二、音鹿野苑發掘石彫 | 莫臥兒朝繪畫 | 桐谷洗鱗君藏 | 寫真版 | 寫真版 |
| 三、遊園 | 彼斯古畫額面 | 桐谷洗鱗君藏 | 寫真版 | 寫真版 |
| 四、美人面 | アジヤンタ壁畫 | 笠松勝義君藏 | 寫真版 | 寫真版 |
| 五、佛陀戲法 | 健陀羅發掘石彫 | 桐谷洗鱗君模寫 | 寫真版 | 寫真版 |
| 六、クリンナ雨宿 | 莫臥兒朝繪畫 | 荒井寛方君藏 | 彩色木板 | 寫真版 |
| 七、菩薩像 | 健陀羅發掘石彫 | 桐谷洗鱗君模寫 | 寫真版 | 寫真版 |
| 八、白象王本生譚 | アジヤンタ壁畫 | 桐谷洗鱗君模寫 | 寫真版 | 寫真版 |
| 九、夜叉 | バルント石彫 | 桐谷洗鱗君模寫 | 寫真版 | 寫真版 |
| 〇、佛誕 | アジヤンタ壁畫 | 桐谷洗鱗君模寫 | 寫真版 | 寫真版 |
| 一、美人靜思 | 莫臥兒朝繪畫 | 桐谷洗鱗君藏 | 寫真版 | 彩色木板 |
| 二、クリンナ吹笛 | 細密石彫 | 桐谷洗鱗君藏 | 寫真版 | 寫真版 |
| 三、佛陀 | ホロアトル石彫 | 桐谷洗鱗君模寫 | 寫真版 | 寫真版 |
| 四、天童 | アジヤンタ壁畫 | 桐谷洗鱗君模寫 | 寫真版 | 寫真版 |
| 五、佛誕 | 健陀羅發掘石彫 | 桐谷洗鱗君模寫 | 寫真版 | 寫真版 |
| 六、綠蔭清憩 | 彼斯古畫 | 桐谷洗鱗君藏 | 彩色木板 | 寫真版 |
| 七、日天 | 吠陀教神石彫 | 桐谷洗鱗君藏 | 寫真版 | 寫真版 |
| 八、鵬 | アジヤンタ壁畫 | 桐谷洗鱗君模寫 | 寫真版 | 寫真版 |
| 九、聖牛 | 遺跡石柱頭飾 | 桐谷洗鱗君模寫 | 寫真版 | 寫真版 |
| 〇、佛本生譚 | アフラグアチ石彫 | 桐谷洗鱗君模寫 | 寫真版 | 寫真版 |

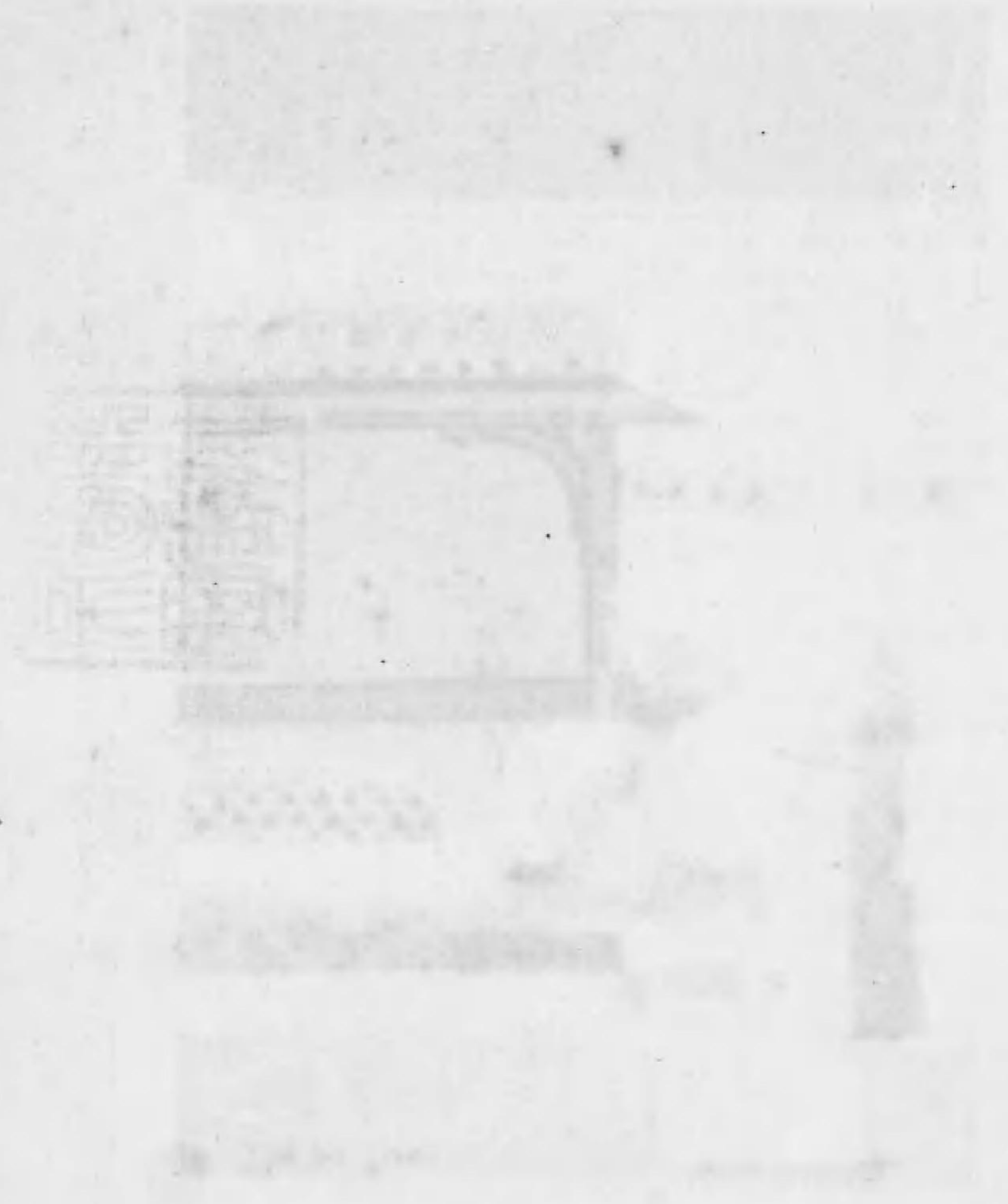
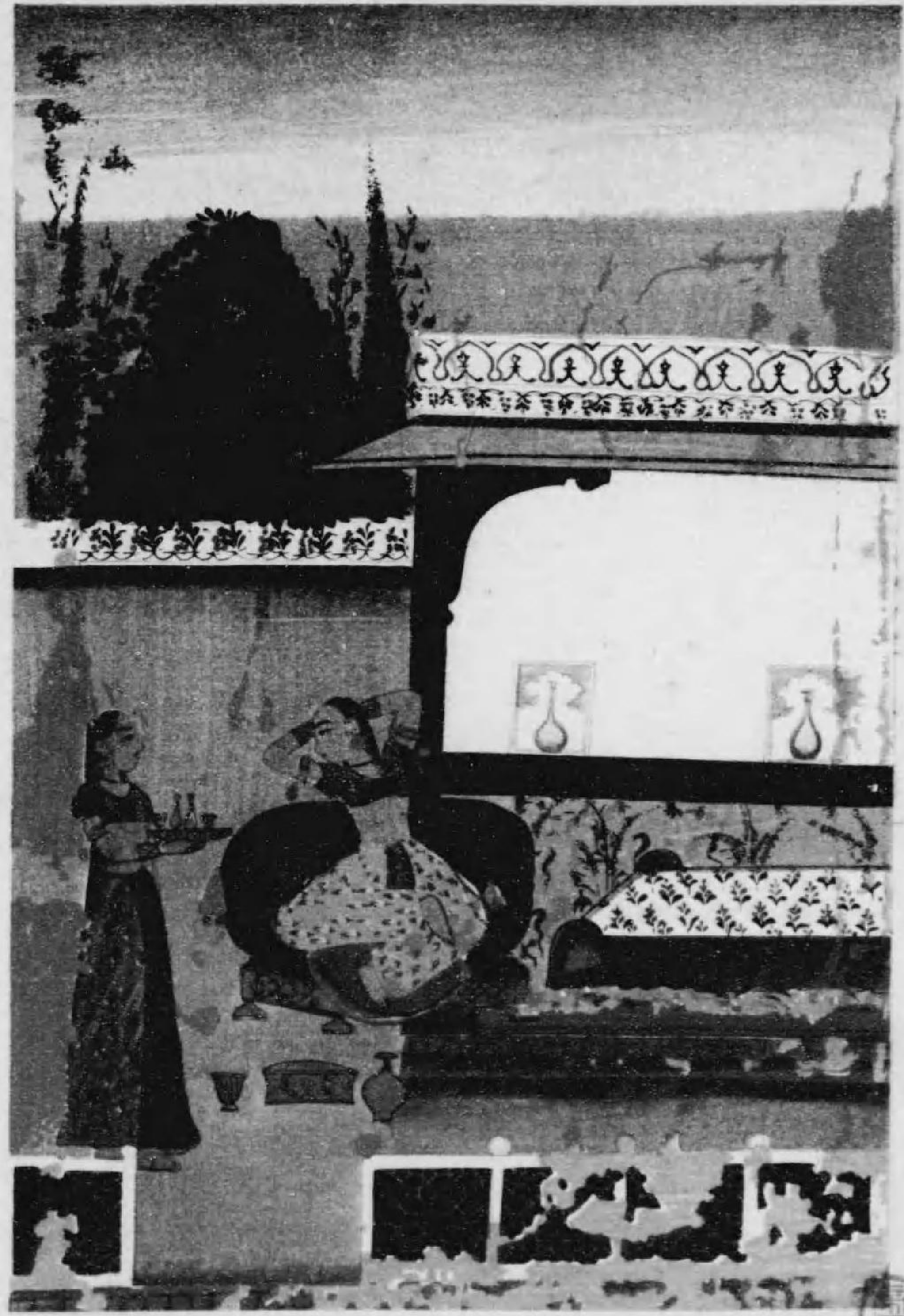
第三卷第一輯

第四卷第一輯

第五卷第一輯

第六卷第一輯

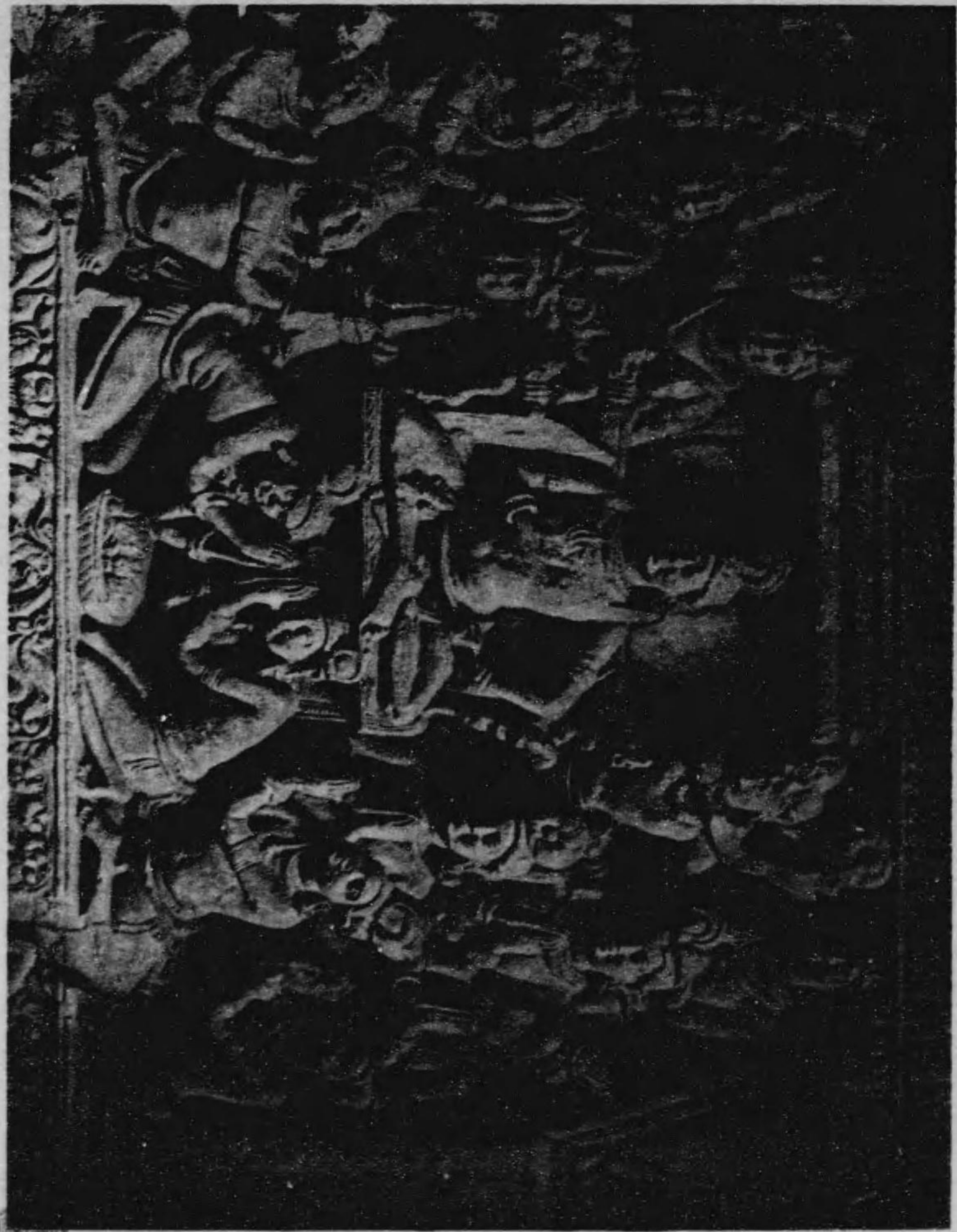
大正十年六月二十五日



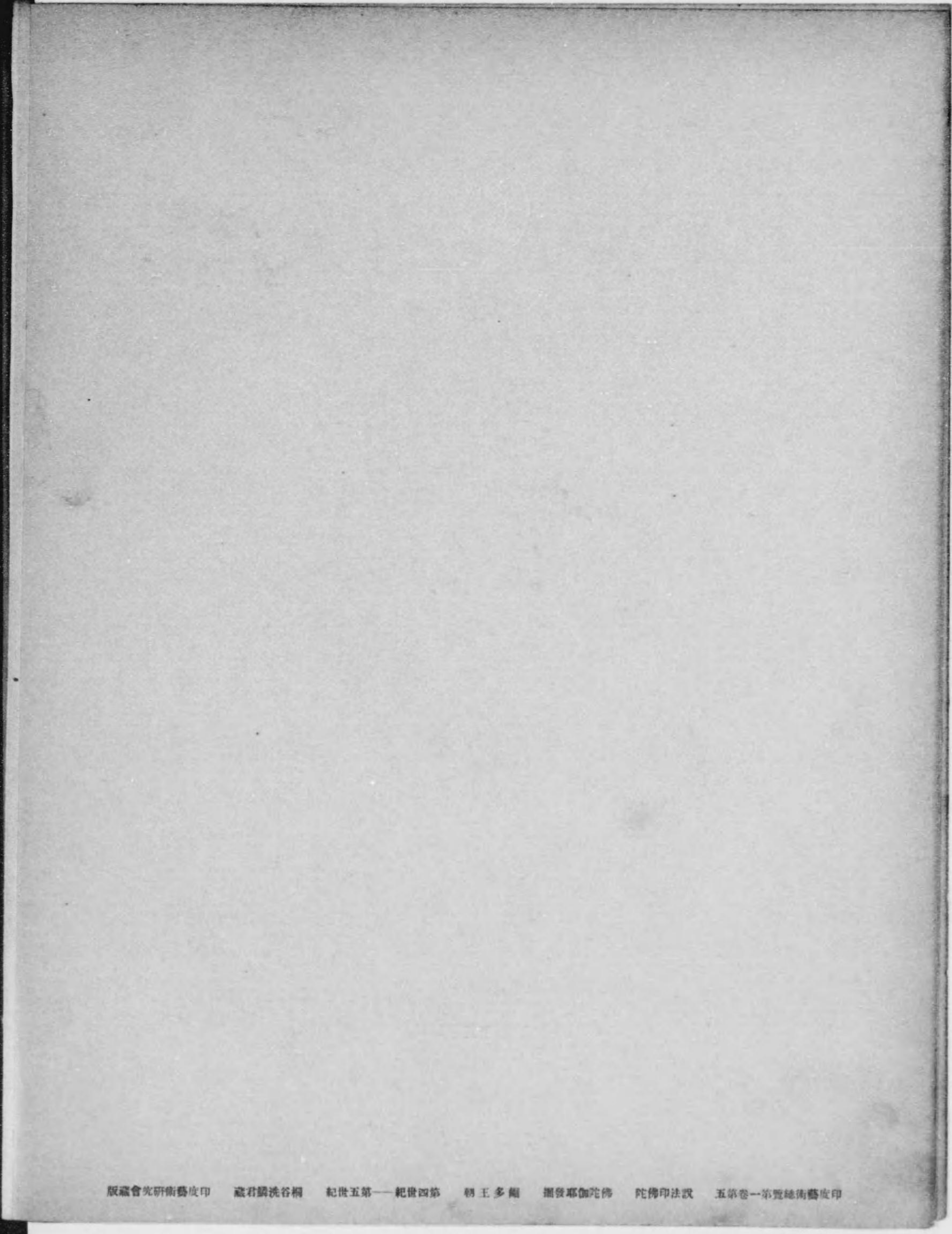
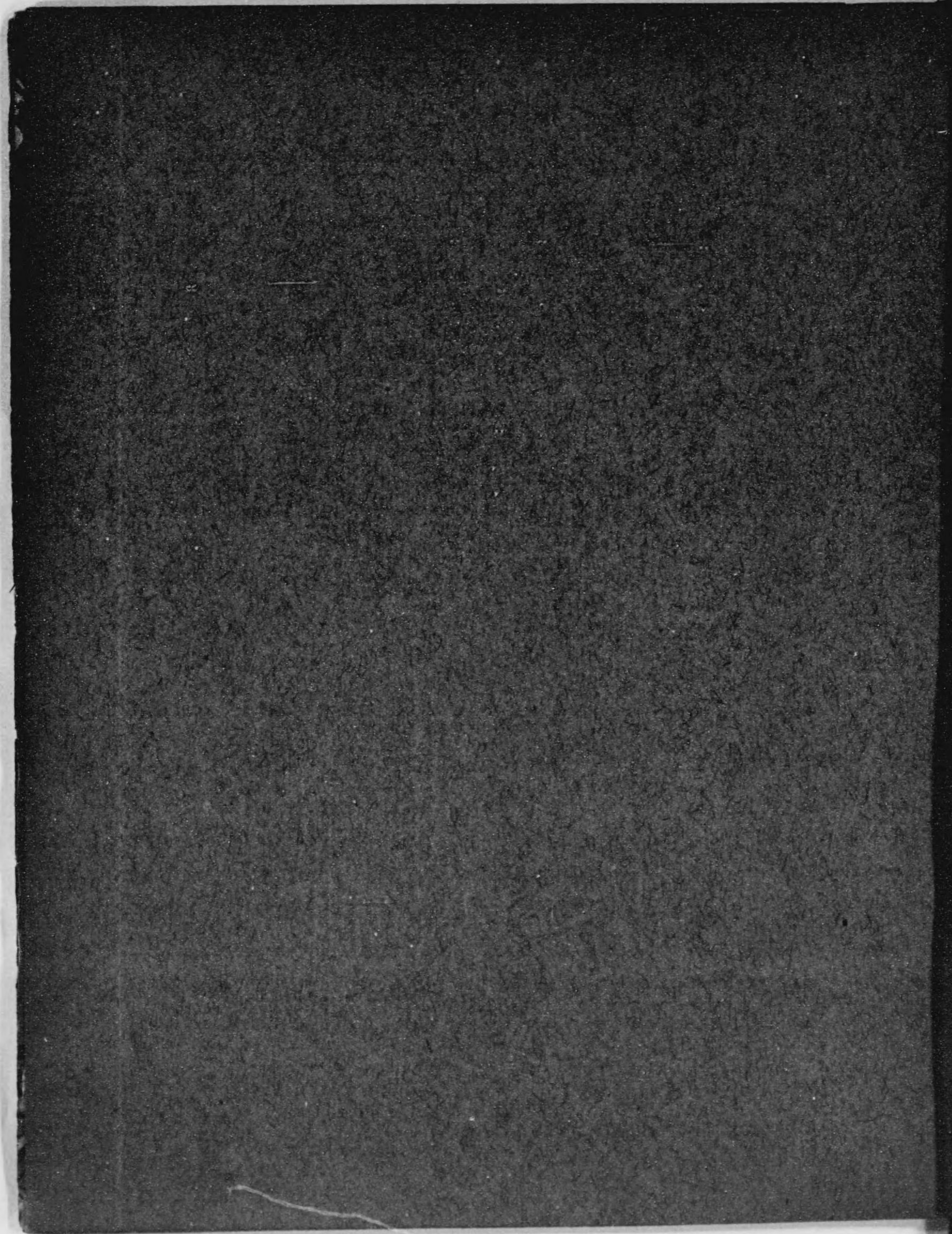




印







印度藝術總覽第一卷第一輯目次及説明

第一 印度神話 (彩色木版) 桐谷洗鱗君藏

第十六世紀中葉乃至第十八世紀後半、莫臥兒朝の作。莫臥兒朝繪畫は彼朝の畫風を印度化して出來たる繪畫にして、最も多く、彼朝藝術の影響を受く。現存印度繪畫の主たるものなり。多くモ、筆を以て畫かれ、畫題は神話、背像等多く、風景は稀なり。白描のものもあれど、體面濃厚の彩色を施し、毛髪の如きも一本一筆に畫き、重きたるが如き、最も微細に畫かれたるものを受賞せらる。堅一尺位、横七八寸の小作のみなり。

第二 藥叉女 (石彫) カルカッタ博物館藏

紀元前三世紀阿育王朝作。パルチ、玉垣門の守護神の一。藥叉女像。パルチ遺跡は大塔の周圍に玉垣を造られ、四つの門あり。佛本生譚(ジャータカ)即ち佛の前生に關する神話其他佛傳を多く彫刻し、サンチのそれと共に印度最古の彫刻に屬す。木圖彫刻は赤色を帯びたる堅き石材に薄肉にて自在に彫刻され、純印度式の最も雄大なる作なり。

第三 白象王本生譚 (繪畫) 桐谷洗鱗君模寫

アジャンタ洞窟第十洞窟畫の一部。アジャンタ洞窟は紀元前一世紀頃乃至第七世紀頃になりたるものにて、就中第十洞窟は第九洞窟と共に最も古きものなり。本圖は佛の前生に於て、鳥鹿、象等、種々のものに數回生れ變りて諸生を演度したりと云ふ。本生譚中の白象に生れて因縁を説きたりと云ふ神話を畫きたるものの一節なり。人物の服裝はパルチ、サンチ等の印度最古の彫刻の服裝と一致す。其描法最、細密の線を用ひ、陸の如きも一本一筆に畫き、他の洞窟の壁畫の描法と大に異なる。

第四 佛母靈夢其一 (石彫) カルカッタ博物館藏

アマラウチの彫刻の一。第二世紀の作。アマラウチの遺跡はタリシナ河畔に在り、塔の玉垣に本生譚其他佛傳等を彫刻す。

本圖彫刻は菩薩兜率天の宮殿に住し、菩薩師子座に坐し、百千の天衆之に奉仕して、善人に昇らんとするを現はしたるもの。其服裝はサンチ、パルチ等の印度最古の彫刻と一致す。而も此時代に至り、印度人の思想及び彫刻技術上一時期を畫し、佛を現はすにパルチ、サンチ等のそれの如く、靈夢を畫せしめて、古代實在の服裝の像を以てするに至れり。

第五 說法印佛陀 (石彫) 桐谷洗鱗君藏

佛陀像發掘品。第四世紀中葉乃至第五世紀初葉多王朝の作。佛陀像は佛陀が菩提樹の下、金剛座の上に結跏趺坐して瞑想し、靈覺を覺破し、曠の明星を見て、豁然正覺したりと云ふ佛陀の生涯に於て最も紀念すべき聖地なり。此地佛陀像は多くは靈覺印にして、說法印は甚だ珍らし。尙此像は奈良法隆寺金堂壁畫の說法佛と同一印相にして、研究上相對照參考すべき好資料なり。

墨紙意匠 アジャンタ洞窟天井壁畫模樣

大正十年六月二十日 印刷

大正十年六月廿五日 發行

不許複製
編輯人 伊尾準
印刷人 友田寛治
印刷所 東京市小石川區金富町十四番地 印度藝術研究會印刷部
發行所 東京市小石川區金富町十四番地 印度藝術研究會
振替口座東京四三六八五番

終

印度藝術叢書第一卷第一輯目次及說明

本叢書之編纂，其目的在使吾人得見印度藝術之全貌，而於其發展之經過，亦得有所了解。故凡屬印度藝術之範圍，無不搜羅。其內容之豐富，實非他種叢書所能及也。茲將本卷第一輯之目次，開列於後，以供參考。

一、印度藝術之概論
二、印度藝術之分期
三、印度藝術之地域性
四、印度藝術之社會性
五、印度藝術之宗教性
六、印度藝術之政治性
七、印度藝術之經濟性
八、印度藝術之文化性
九、印度藝術之藝術性
十、印度藝術之科學性

本叢書之編纂，其目的在使吾人得見印度藝術之全貌，而於其發展之經過，亦得有所了解。故凡屬印度藝術之範圍，無不搜羅。其內容之豐富，實非他種叢書所能及也。茲將本卷第一輯之目次，開列於後，以供參考。

不詳

大正十年六月二十日 印刷
大正十年六月廿五日 發行
發行所 印度藝術研究會
東京市小石川區金町十丁目
電話 三六八五